

『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』を読んだことのある10代～50代の男女13名
調査期間	2025年10月15日～2025年10月16日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kari-somenotigiri/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	3人
30代女性	1人
40代男性	3人
40代女性	1人
50代男性	5人
50代女性	0人

Q2:『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』の感想を教えてください。

『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』1話～5話	序盤から主人公である絢子をとことん追い詰める展開があり、この作品の厳しい世界観がすぐに伝わってきました。家族までもが敵対してしまう環境の中で、絢子が必死に生きていく姿を見ると、こちらまで応援したい気持ちがどんどん大きくなりました。そんな中、とある伯爵との出会いによって絢子の運命が変わりそうな展開を匂わせるので、さらに続きが気になりました。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』1話～5話	第1話を読んで、絢子の境遇に心が痛くなりました。両親に遺産目当ての愛もない結婚を押し付けられて、夫の死後に巨額な借金を背負わされるのは辛かった。社会的な立場を失って、母親には勘当帰る場所もなくなる描写がとても切実です。使用人として働き始める場面では、屈辱と希望が入り混じる感情にぐっと引き込まれました。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』1話～5話	本郷に騙されたような気がしました。というのも絢子との結婚生活に違和感を覚えたんですよね。そういう対象として絢子を見ていた割には、あまりにもあっさり引き下がりがすぎでしたから。多額の支度金まで用意したのです。絢子の反応が気に入らなかったとしても、一夜限りで終わるなんて普通はありません。本郷からすれば、絢子との結婚生活を続ける意味はなかったのに、なぜ続けたのか。それは絢子の名前を使って借金をするためだったのです。本当にやられたなと感じました。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』6話～10話	カツカツの実家を救うために、大きく年の離れた頭取と結婚させられるも、あっという間に亡くなってしまった挙げ句、膨大な借金まで背負わされた絢子が、女学校時代の友人からの紹介で働き先が見つかるも、悪い噂のせいで壮絶な嫌がらせにあっているところを、雄一郎がお達しという形で一蹴させるところにキュンと来ました。しかも、絢子には以前会ったことがあったことは知らせずに、あくまで仮初の契約として結婚を提案するある意味不器用さに、希望と大逆転する未来が見えた気がしました。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』6話～10話	女の嫉妬心って恐ろしいですね。とはいえ、恋人を取られたわけでもなく、ともに使用人でありながらご主人様にちょっと自分よりも気にかけてもらっただけ。千代はなぜここまでひどいことをするのか。そしてヒロインもただ黙っているだけではない。反論する姿を見ると、もっと頑張れと思いました。というよりも雄一郎こそ頑張れ。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』6話～10話	嫌がらせに対して腹が立ちました。ちょっと気に入らなかつただけで、なぜここまでひどいことができるのか理解できません。本当に、こういうことはなくなしてほしいです。気になったのは雄一郎と絢子の関係です。絢子は雄一郎のことを知らないようですが、雄一郎の方はそうではない様子。回想シーンに絢子が登場していましたし、嫌がらせを止めようとするほどなので、何かしらのつながりがあったのだと思います。二人の過去に何があったのか、とても気になりました。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』11話～15話	本当に千代は華族様が憎くて仕方がない様子ですね。あたりがめっちゃくちゃ強い感じで見ていてイライラが募りますね。でも一方でこういうキャラは物語に一人はいて欲しいという気持ちもあり俄然目が離せないことは確かです。嫌がらせの質が本当に陰湿で胸が苦しくなってきますが、それに打ち勝つ絢子の姿も見たいというのがこの作品の面白さですね。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』11話～15話	急な展開に驚いています。雄一郎が絢子のことを気にかけていたのは理解していましたが、それでも使用人になって間もない絢子に求婚するとは思いませんでした。ほとんど接点がないため、絢子がどんな女性なのかよくわかりません。それにもかかわらず求婚するその行動力には驚かされました。気特に気になったのは、雄一郎と絢子が外出した場面です。何気なく食べていたアイスクリンでしたが、雄一郎の様子に違和感を感じました。もしかすると、幼い頃に二人で一緒にアイスクリンを食べたことがあるのかもしれないですね。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』16話～20話	この作品は本当に絢子に対してみんな厳しすぎます。元華族だからという理由以外の何かがあるような気がして、すごく気持ちが苛まれそうです。そんな時、新たな使用人の子がやってきて物語がさらに面白くなっていくので注目ですね。最初はいい人そうな雰囲気装っていても結局うちに秘めた黒い部分が露わになったりと展開がとにかく絢子にとってすごく辛い流れになっていくかもしれませんし、その部分を噛み締めながら見るとより絢子のことを応援したい気持ちが強まります。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』	絢子に味方ができたようで、ほっとしました。というのも、高杉家では絢子は完全にアウェーの立場だったからです。特に同年代の女性使用人たちからすると、なぜ絢子が選ばれるのと妬みを感じ

愛される〜』16話 〜20話	たのではないのでしょうか。さらに言えば、絢子は使用人時代に嫌がらせを受けていたのです。良好な関係を築くのは難しいと思っていました。それだけに華の存在は大きく、上手くやっていけそうで安心しました。
『かりそめの契り 〜後家の花嫁は 愛される〜』21話 〜25話	本当にこの物語は登場人物たちが嫌な人ばかりで嫌になりますね。ですが、そのことがきっかけとなり主人公である絢子の魅力が増大していくのである種結果オーライですね。作中での、莉津子さんの存在もこの作品のストーリーをより面白いものに昇華させてくれているように思うので俄然目離せません。自分の言動によって想定外の展開になる流れはかなり笑えます。
『かりそめの契り 〜後家の花嫁は 愛される〜』21話 〜25話	そもそも少し怪しいとは思っていたんですよ。3億円も借金があるのに、なぜ使用人の仕事を紹介するのか。使用人では明らかにこの額は返済できませんから。気が沈んでいて判断能力が鈍っている絢子を狙ったとは思えません。
『かりそめの契り 〜後家の花嫁は 愛される〜』21話 〜25話	莉津子は本作で唯一の良心だと思っていました。だからこそ、この展開は驚きです。とはいえ、莉津子の気持ちも理解できなくはありません。行く当てのなかった絢子を救えるだけでなく、莉津子にも雄一郎に会えるというメリットがありました。まさに一石二鳥の素晴らしい案と言えるでしょう。しかし蓋を開けてみたら、最悪の事態になっていたのです。嫌味の一つも言いたくなるだろうと感じました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス